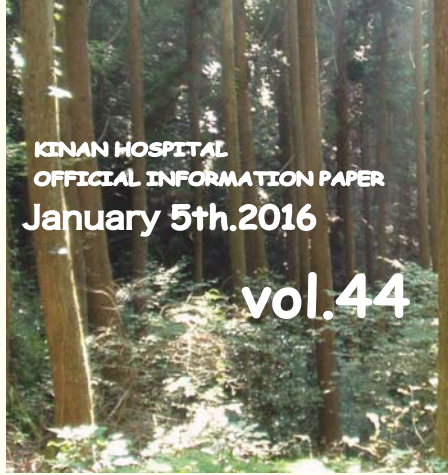




さざん くるす



※田辺市の熊野古道（牛馬童子）

新年のあいさつ



病院長
赤木 秀治

皆さま、明けましておめでとうございます。

皆さまには希望に満ちた新しい年を迎えられたことと存じます。
今年も皆さまのご多幸とご活躍を祈念申し上げます。

さて、昨年も様々な出来事が世間を賑わせました。特に大きな話題となった出来事と言えば2020年東京オリンピックエンブレムの白紙撤回とメインスタジアムの設計やり直しでしょうか。その他にもTPP協定大筋合意や沖縄普天間飛行場の辺野古移設に係る騒動などがありました。

医療の分野では、医療法の改正に伴い病床機能報告制度と地域医療構想の策定が規定されたことがあげられます。病床機能報告制度とは、各医療機関が自院の病床が担っている医療機能の現状と今後の方向性を選択し、病棟単位で「高度急性期」「急性期」「回復期」「慢性期」のいずれかに区分して都道府県に報告し、それに向けた各医療機関の自主的な取り組みを推進するものです。また、地域医療構想とは「地域における病床の機能の分化及び連携を推進するための基準として厚生労働省令で定める基準に従い定める区域（構想区域）における将来の医療提供体制に関する構想」とされています。少し分かりにくいですがこれはすなわち、それぞれの構想区域（二次医療圏）における病床機能区分ごとの将来（2025年）の必要病床数を推計し、それに対応する医療提供体制のあるべき姿を示す、ということでもあります。国の試算によれば田辺二次医療圏の人口は10年後には10%、20年後には20%減少する、とされています。その中で田辺二次医療圏の急性期病床を400~500床程度削減することが求められています。それが妥当で実現可能な数字かどうかは別にして、そういう方向性で医療提供体制の再構築が求められていくことは間違いないと思われます。当院もそういう将来を見据えて病院の向かうべき方向性を定めていく必要があります。今後も国の方針等を注視して、適切な情報提供に努めますので、皆さまのご理解とご協力をお願い致します。

今年は申年ですが、本来「申」は動物の「猿」とは全く関係ないそうです。「申」とは「伸ばす」の意味で「草木が十分に伸びきった時期で、実が成熟して香りと味がそなわり固く殻に覆われていく時期」とされています。当院はと言えば、数々の課題を抱えつつも、職員の皆さまのご努力のお蔭で、栄養十分の成熟過程にあると思います。この成長を止めることなくさらに成熟して味わい深い香りと味を醸し出せるような病院になりたいと願ってやみません。



※世界遺産に登録されている熊野古道の中でも、もっとも人気なのが、『中辺路（口熊野・田辺～熊野本宮大社）』のウォークコース。熊野古道のゴールデンルートともよばれています。

医療の現場から



心臓血管外科部長

須原 均

昨年4月に赴任して来た須原と申します。赴任以来、早いもので約9カ月が経過しました。和歌山県紀南地域で、唯一の開心手術を施行し得る基幹病院としての責務を果たすべく、日々頑張っているところです。もちろん、多くの他科および病院スタッフの方々の協力なくしては成しえないところであり、この場をお借りして感謝申し上げる次第であります。

心臓血管外科手術の歴史は、意外と浅いのですが、先人達の献身的な熱意・努力により急速な発展を遂げてきました。また、現在も進行形であります。

世界では、1953年にGibbonらが現在の人工心肺装置を用いて心房中隔欠損閉鎖手術に成功後、欧米ではいわゆる現在の開心術が普及しました。

わが国でも1952年以来大学病院にて実験的研究がなされてきましたが、なかなか臨床成功例が得られていませんでした。1956年4月18日大阪大学の曲直部先生がファロー四徴症の根治術を人工心肺下に成功させ、それ以降、国内においても人工心肺時代がスタートしました。以降、人工肺、体外循環、心筋保護液、術前術後管理の進歩によって、すべての心臓手術成績が向上し、その結果、手術適応は乳幼児や高齢者に拡大されるようになりました。

近年、高齢化社会を迎え、手術対象年齢が上昇してくると、安全になったとはいえ、人工心肺は全身の炎症反応を惹起することから、やはりこれを回避する低侵襲手術が考えられるようになってきました。

虚血性心疾患では、1990年代後半人工心肺を使用しない心拍動下バイパス手術が導入され、合併症が少ないため、多くの症例に使用されるようになってきました。

大血管領域においては、ステントグラフト(Endovascular repair)が発案されました。当初、hand-madeで作成されていたグラフトでしたが、企業ベースのステントグラフトが出現、腹部ステントは2007年、胸部用は2008年に保険償還がなされ、それ以降、国内においても急速な普及をみせています。現在、企業デバイスは腹部EVAR用Gore Excluder, Powerlink, Medtronic Endurant II, Cook Zenith, 胸部TEVAR用Gore cTAG, Relay, Zenith TX2, Medtronic VALIANT, TALENT等、複数出ています。現在、弓部瘤については、両腋窩・左総頸動脈バイパス後にTEVARを施行したり、chimney techniqueを駆使して上行大動脈へのグラフト留置により、あくまで人工心肺を回避する全弓部置換術も施行されています。また、腹部大動脈瘤では、EVARでの対応困難な傍腎動脈型においても開窓型グラフトや胸部弓部ではdebranchingグラフトが開発されており、ますます、大動脈瘤に対する血管内カテーテル治療が増加する可能性が大きいと思われます。

また、開心術に戻ると、近年増加している、高齢者大動脈弁狭窄症に対して、経カテーテル大動脈弁留置術(TAVI)も国内での治験も終了し、2013年度にはEdwards SAPIEN が国内初の保険償還され、実施認定施設においては治療が開始され、埋め込み症例数も右肩上がりに増加しています。僧帽弁閉鎖不全に対しても、経カテーテル僧帽弁留置術(TMVR)のデバイスは既に欧米では治療が開始されつつあり、今後、国内でも治験、臨床利用が始まるものと思われます。こういった経皮的カテーテル治療が全国的に普及してくるものと考えられます。現在は、大学病院やマス施設を有した病院のみでの施行に限られていますが、今後、地域医療を担うためにはその準備が必要かと考えます。その施行には、到底心臓血管外科単独では不可能であり、麻酔科、循環器科、放射線科、手術場等の他科の先生方や他職種の連携が一層必要になってきます。

今後の紀南病院の発展のためにも、今後ともよろしく願いいたします。

研修医

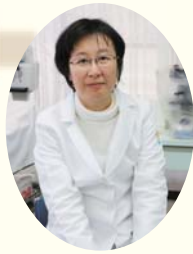
出嶋 育朗



研修医1年目出嶋育朗と申します。私には語るべき武勇伝もなければ、都会感もなく、昭和56年生まれ本籍すさみ町、出身は上富田町のただの紀南民です。とはいえ人生においてなかなか人様に自己紹介する機会というのはないので、せっかく頂いた貴重な紙面、少しの間ですがよろしく願い致します。

地元上富田町立朝来小学校卒業し、上富田中学校に進級・・・するかと思いきや、諸事情により単身横浜の全寮制の中学校、高校に進級致しました。ちなみに所謂智弁和歌山だとかそういった進学校ではなく、当時は新設校、人数確保のために全国から偏差値30にも満たない底辺を集めただけの学校でした。そして高校卒業後、埼玉県で日雇いバイトを経て、引越センター等点々とアルバイト生活を経て、最終的に遊戯機メーカーの販売店に就職致しました。具体的には紀南でも熱心な研究者が多数おられる、「7」や「3」の数字3つ並びを頂点とし、奇数が偶数より強いという数字のヒエラルキーを論じる遊戯です。それはさておき、いつも通り仕事を終えて大宮駅前で仕事仲間と談話をしていた時に急

研修医日記



――皮膚科を選ばれたきっかけはなんですか？

子供の頃ニキビが多く悩んでいた事や、大学時代、接触皮膚炎の研究が進んでいた大阪回生病院の須貝先生に弟子入り希望の手紙を書いたのがきっかけです。

――皮フ科池畑医院の特徴はどのようなものがありますか？

午前中のみ診療ですが、オールマイティーに診察しています。手間のかかる処置の方も多いです。洗い場があり、水虫やとびひ等の感染症を起こしている方にはその場で看護師が洗浄しながら処置の仕方を説明しています。そうすることで治癒率も向上しています。



手足の洗い場

――今後の展望等は何がありますか？

丁寧な説明を心がけていきたいと思っています。
開業して10年経ちますが、例えばステロイド剤に対する考え方など、随分変わってきています。それでも患者さんによっては強い不安をもたれている場合もありますので、お薬の効果と副作用、治療の目標等15～30分ほどかけて説明し、理解して頂いています。その結果、待ち時間が長くなってしまうこともあるのが申し訳ないのですが・・・。

――しかし、これだけ患者さんが来られているということは、池畑先生の説明を十分理解されている証だと思えますが。

そう言って頂けると嬉しいです。

――池畑医院ではトイレを車イス対応するなど、患者さんに優しい病院作りに取り組まれております。

に父から電話がかかってきたのを今でもはっきり覚えています。「仁(弟の名前)な。医学部受かったみたいやで」。

その時は全く事態を飲み込めませんでした。私の弟は高校を卒業していません。その高校も卒業していない弟が医学部に？なぜ？というのが正直な意見でした。後日聞いた話ですが、弟は何を思ったのか独学で大学検定をいつのまにか合格し、さらにその勢いで医学部受験もしていたとのこと。ちなみに世間一般でいうと現役合格という計算になります。

ちょうどそのころ自分も仕事も一つ波がさって、業界全体としても下火になっていたころでした。前述の弟のことを少し気にしながら自分もこのままでいいのだろうか何となく考えながら普段通り出勤していたところ、ある朝、社長から「訳あって今の会社は存続できない、新しく会社を立ち上げるからそれまでは待っていてほしい、後で連絡する。」とそれだけ伝えられました。もちろんそれ以来連絡が来ることはなかったのですが、なにとはともあれ突然無職になった私は次なる仕事を探さなければならなくなりました。

とはいえいまさら世間の波に乗って再就職しようにも学歴も頭脳もない。かといってキツイ肉体労働や危険な仕事はもう懲り懲り。元の仕事の伝手で次の仕事を斡旋してもらおうかと等と散々悩みましたが、どの選択枝も後先考えると現実問題として先行きは明るくなく途方に暮れておりました。そこでふと前述の弟の話を思い出し、やり直すなら今だと中学生の勉強からもう一度一人で一からはじめることを決意し、再び教科書参考書を手に取り、なんとか遅まきながら東京の方の医学部に入学した次第であります。

そして他の同年代の皆さまが医学部を卒業しようという年齢にて第二の人生を歩もうと決意し、再び東京に戻ったわけです。そこから順風満帆でまるで何かのサクセスストーリーのような人生が待っている・・・わけではなく大学2年生の時に、スキーの競技中に山から崖下に滑落致しまして約2年間の入院生活、おまけに脳脊髄液減少症という後遺症を患ってしまいました。この病気は見た目には何も変わらないのでよく世間では「さぼり病」なんて言われていたりします。一つ言えることは毎日朝起きた時から寝るまで倦怠感や頭痛は本当にうっとおしいものです。

せっかくの機会なのでもう少しだけ書かせていただきます。私はどういう訳か様々な理由で友人を3人亡くしております。1人目の訃報は仕方がない、人間いつかは死ぬんだと割り切り、2人目は葬式でちょっとだけ泣きました。3人目に一番仲の良かった親友が亡くなった時は警察署で気が狂うかと思うくらい暴れました。

その親友が生前「俺は親も兄弟もないからお前のことがちょっとうらやましいとたまに思う。けど、俺は俺やし、万人に好かれようとは思わない。別に誰かに嫌われてもなんとも思わん。けどな、世話になった人とか自分を好意に思ってくれる人は親と同類や。だからな、寂しいとか思ったことはないんや。」とよく語っていましたが、今になって思えばとても心に響く言葉だと思っています。

以上、人間的にも頭脳的にも皆様と比べてかなり程度の低い私ですが、別に悲観することも全くなく自分にできることだけを地道に一生懸命やっていたらいいかなと思います。

長々と稚拙な文章ではごさいましたが、この辺で自己紹介を終わらせていただきます。有難うございました。

病院のまど

学校便り

第56回市民健康講座について

動脈硬化とは、「動脈が固くなる事」です。動脈が固くなると血管の中が狭くなったり、つまったり古い水道管が汚れたりするのと同じ状態となります。これは脳梗塞、心筋梗塞、認知症などあらゆる病気の原因となります。動脈硬化を引き起こす原因について学んでみませんか？

日時 平成28年1月31日(日)
午後2:00~3:00

演題 動脈硬化

~脳梗塞や心筋梗塞、さらに
認知症にも関係します~

演者 木村 桂三(紀南病院
循環器科部長)

会場 紀南病院 3階講堂

「地域の方との交流を深め、たくさんの笑顔を集めよう」

をテーマに11月28日に学園祭を開催しました。血圧・身長・体重測定、いくつかの模擬店とバザー用品の展示即売などを催され、出店にはハモニティー・こころの医療センター・熊野高校・南部高校の関係者の方々に御協力をいただきました。当日は肌寒い中、来校された155名の地域の方々と交遊を深めることができました。講義や実習でお世話になっている講師や病院スタッフ、卒業生も参加され皆様と楽しい時間を共有することができました。また献血には91名(学生も含め)の方が受付され、そのうち63名に御協力をいただきました。なお、模擬店の利益や募金は学生自治会から災害復旧対策に寄附させて頂きました。

12月14日にケーススタディの発表会がありました。3年生31名が臨地実習での自分の看護を振り返り、理論的に思考し記述及び発表する事で自己の表現力、文章力を養う、また自己の看護観を明確にするなどの目的で行いました。

〈今後の予定〉
2月14日 看護師国家試験

編集後記

新しい年が始まりました。年の初めというものは、気も新たになり気分もすがすがしいものです。このすがすがしい気持ちを笑顔にかえ、今年の干支である猿のような俊敏な行動力を発揮していける2016年にしたいものです。
K記

daikoku 株式会社 大黒

本社：〒640-8525 和歌山県和歌山市手平 3-8-43

和歌山事業所	：〒641-0012 和歌山市紀三井寺855-71
紀三井寺事業所	：〒641-0014 和歌山市毛見 1111-1
大阪支店	：〒550-0002 大阪市西区江戸堀 3-5-27
南大阪支店	：〒594-0031 和泉市伏屋町2-16-11
紀南支店	：〒646-0011 田辺市新庄町3778-2
神戸支店	：〒650-0023 神戸市中央区栄町通5-2-6
奈良支店	：〒630-8115 奈良市大宮町4-295-10 奈良朝日生命川口ビル 1F
関西空港営業所	：〒590-0523 泉南市信達岡中919-1
新宮営業所	：〒647-0052 新宮市橋本 2-5-61
東京麴町オフィス	：〒102-0083 東京都千代田区麴町3-5-2 BUREX 麴町 301号
京都丸太町オフィス	：〒606-8395 京都市左京区丸太町通川端東入 東丸太町32-3 上田ビル 3F

DAIKOKU MEDICAL SUPPLY

保健・医療・福祉の分野で、

「生命を守る人の環境づくり」を通じて

地域の発展に貢献することが

私達の使命です。

 **SEIKO MEDICAL**
医療の先へ。セイコーメディカル株式会社

■本社 〒640-8287 和歌山県和歌山市港6丁目9番地の10 TEL. 073-435-2333 FAX. 073-435-2223	■田辺営業所 〒646-0011 田辺市新庄町2744番地 TEL. 0739-25-4535 FAX. 0739-25-4578
■大阪支店 〒595-0012 泉大津市北畠中町2丁目5番28号 TEL. 0725-31-3610 FAX. 0725-31-3619	■新宮営業所 〒647-0072 新宮市峰伏20番22号 TEL. 0735-31-9130 FAX. 0735-31-9133
■阪大前営業分室 〒641-0012 和歌山県紀三井寺768番地の13 TEL. 073-448-3787 FAX. 073-448-3781	■奈良営業所 〒832-0082 天理市荒崎町56番地の4 TEL. 0743-64-3607 FAX. 0743-64-4810